

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 ぎふ清流文化プラザ設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 文化創造課 文化施設係 電話番号：058-272-1111(内3119)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 99,163 千円 (前年度予算額： 190,920 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|---------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|---------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 190,920 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 171,800 | 19,120 |
| 要求額 | 99,163 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 89,000 | 10,163 |
| 決定額 | 54,054 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 48,200 | 5,854 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・非常用ガスタービン発電機は、災害や事故による停電時に建物へ電力を供給する設備である。設置から31年が経過しており、耐用年数30年を超過している。非常時には確実に安定稼働させる必要があるため、更新工事を行う。設置器具・方法等に様々な検討が必要となるため、事前に実施設計を行う必要がある。
- ・長良川ホールに設置のプロジェクターは設置後10年が経過し、メーカーサポートが終了している。今後プロジェクターが故障した場合には長良川ホールでの講演会等のプロジェクターを使用した催事ができなくなり、貸館に影響を与えるため、プロジェクター及び映像システムを更新する。
- ・ぎふ清流文化プラザは、館内の照明設備は蛍光灯を中心に電球や水銀灯などを設置している。「照明成長戦略2020」等に基づき、各メーカーは次々と蛍光灯照明の生産を終了しているため、照明設備のLED化を行う。方法等に様々な検討が必要となるため、事前に実施設計を行う。
- ・長良川ホールに設置してある舞台照明は主にハロゲンランプ等を使用している。上記工事と同様、舞台照明においても次々と現行使用している製品の生産が終了しているため、LED化を行う。方法等に様々な検討が必要となるため、事前に実施設計を行う。
- ・建設から28年経過したことや車の排気ガス等から経年劣化し、配管の保護塗装が剥がれている。剥がれた塗装が利用者の車等に付着することや、経年劣化が進むことで設備機能に支障が出るのが考えられる。適正な施設運営のため工事を要する。

(2) 事業内容

- ・【設計】非常用ガスタービン発電機更新
- ・プロジェクター及び映像システム更新工事
- ・【設計】舞台照明LED化
- ・【設計】照明設備LED化
- ・配管等保護塗装工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

県民ふれあい会館設備改修事業費

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|---|
| 旅費 | 178 | 照明設備改修工事実施設計（事務費） |
| 消耗品費 | 100 | 照明設備改修工事実施設計（事務費） |
| 燃料費 | 50 | 照明設備改修工事実施設計（事務費） |
| 役務費 | 50 | 照明設備改修工事実施設計（事務費） |
| 工事委託料 | 20,399 | <ul style="list-style-type: none">・【設計】非常用ガスタービン発電機更新・【設計】舞台照明LED化・【設計】照明設備LED化 |
| 工事請負費 | 78,386 | <ul style="list-style-type: none">・プロジェクター及び映像システム更新工事・配管等保護塗装工事 |
| 合計 | 99,163 | |

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定。

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

映像設備（プロジェクター関連）の更新、配管保護塗装工事を実施し、安定的な会館運営を行う。また、ガスタービン非常用発電機の更新及び施設全体の照明設備LED化に向けて実施設計を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 | |
|-----|--------------|------------|------------|------------|------|-----|
| | | | | | (R) | 達成率 |
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

県有文化施設の修繕に要する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|--|
| 令和 4 年度 | ぎふ清流文化プラザ空調用ポンプ更新工事 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール調光装置等改修工事設計業務委託 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール音響設備改修工事 施設の改修等を実施することにより、利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |
| 令和 5 年度 | ぎふ清流文化プラザ長良川ホール可動床機構制御システム改修工事 ぎふ清流文化プラザ長良川ホール調光装置等改修工事 施設の改修等を実施することにより、利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |
| 令和 6 年度 | ぎふ清流文化プラザ直流電源装置用蓄電池更新工事 ぎふ清流文化プラザ空調設備改修工事实施設計業務委託 施設の改修等を実施することにより、利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) 3 | 指定管理制度を導入するにあたり、県と指定管理者間で下記の取り決めを行っている。 ・施設の大規模改修については、県の負担とする。 ・施設の修繕及び備品の負担区分については、 修繕：60万円以上 備品：10万円以上 を県負担とする。 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 3 | 計画的に修繕を実施することで、故障時の対応が容易にでき、公演休止やホールの休館等を防ぐことができる。 |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 2 | 指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位の聞き取り調査を行いながら、計画的に実施している。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各種設備の経年劣化が進む中で、要修繕事項が増加してきている。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 設備の劣化状況を鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模改修については財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。 |
|--|